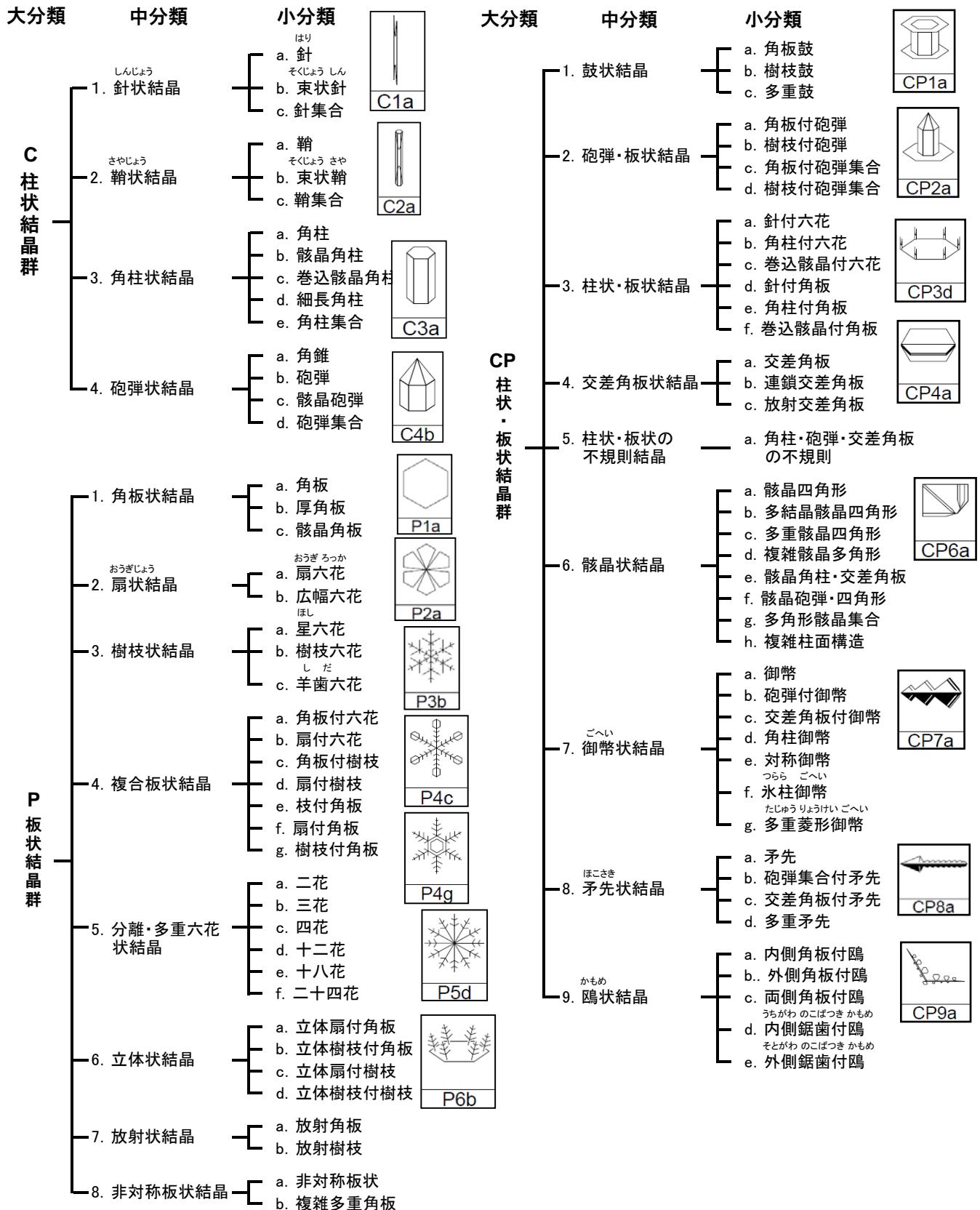


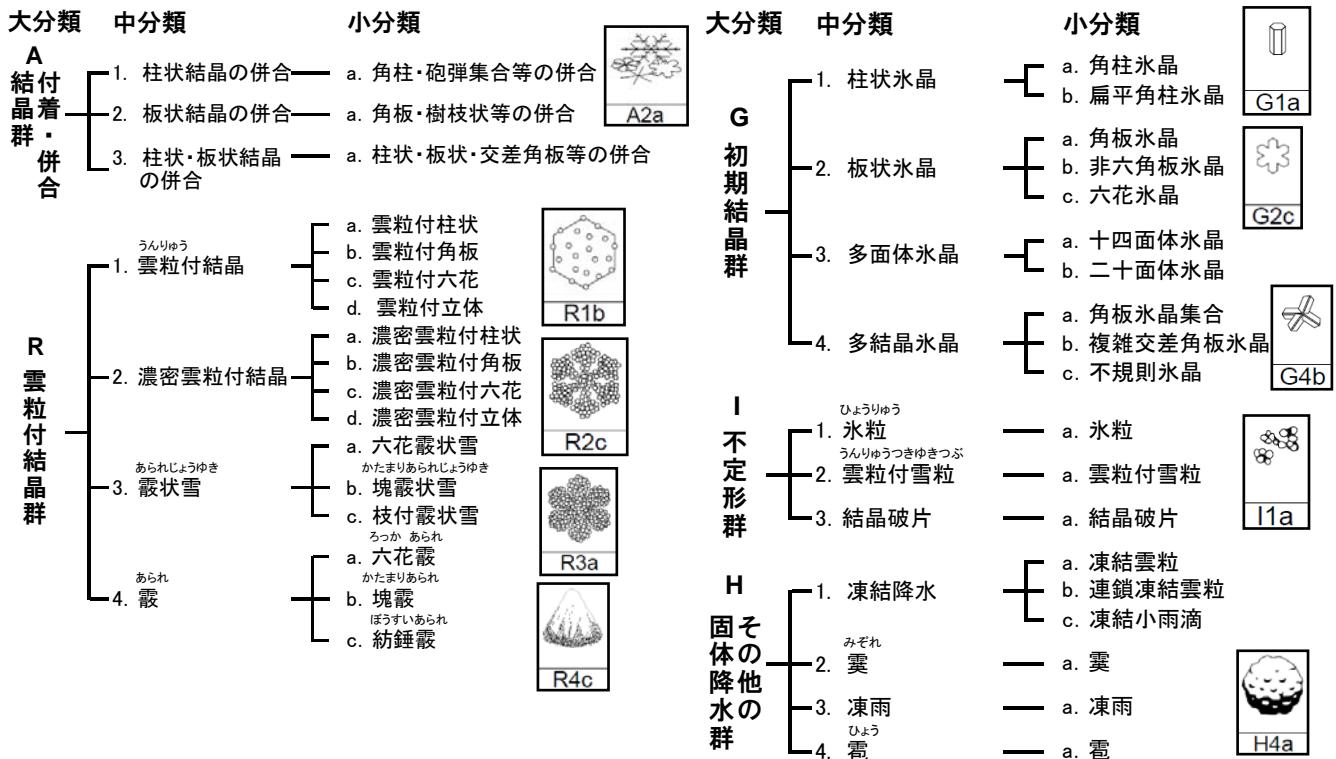
雪結晶のグローバル分類表

(菊地ら(2012)より)

菊地ら(2012)は、世界各地の観測をもとに、雪結晶の「グローバル分類」を作成した。分類は、8大分類、39中分類、121小分類からなる。観測地点は、これまでの分類より拡大して、日本、カナダ、アラスカ、ノルウェー、スバルバル、スエーデン、フィンランド、グリーンランド、南極：昭和基地、ドーム基地、マクマード基地、極点基地など、北半球から南極まで広範囲にわたる。

表. 雪結晶のグローバル分類(菊地ら,2012)。表中に代表的結晶の模式図を付す。





※記号の由来: C: Column(柱状), P: Plate(板状), A: Aggregation(集合), R: Rime(雲粒), G: Germ(胚, 芽), I: Irregular(不規則), H: Other solid hydrometeor group(その他の固体降水群)

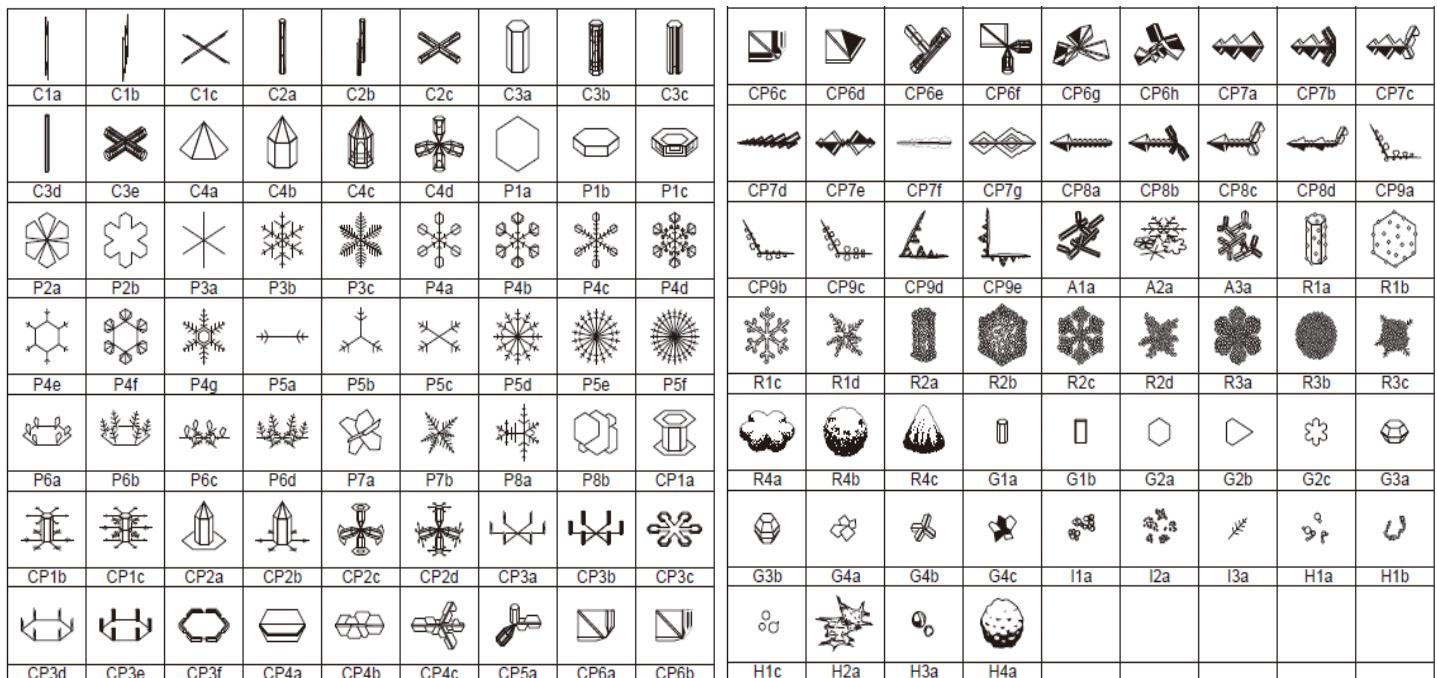


図. 雪結晶グローバル分類の模式図と分類記号 (Kikuchi et al., 2013)